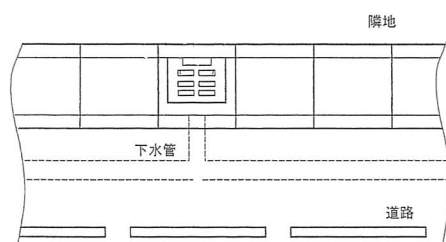


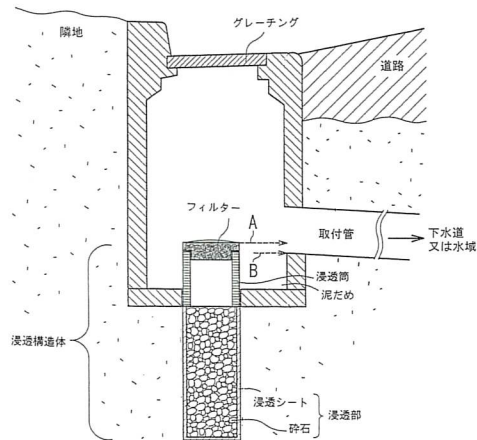
開発のテーマは

経済性に優れ、容易な施工で 大きな効果が図れること

- この技術は、雨水を地下に浸透させるために、新設は勿論、既設の集水ますを簡単な施工で改造し、恒久的に使用できる様にするものです。
(特許第4032396号「浸透構造体及びその施工方法」)



施工例



技術の特徴

- ①掘削容積が小さく、底を抜くだけなので、工事が容易で短時間に施工できる。
また、通行止めや、隣地に負荷を与える心配がない。
- ②掘削深さを土地の事情に合わせて任意にとれる。深くとれば、設計水頭と浸透面積を大きくでき、浸透量を大きくできる。
- ③浸透層の能力低下を防止する着脱容易なレインフィルターを装着するため、簡単なメンテナンスで能力の維持が可能。
長期の使用で砕石層が目づまりしても、更新が容易にできる。
- ④フィルターの高さの調節で、泥だめ効果を利用でき、ベースカットにもピークカットにも設計可能。

改善効果

浸透試験例



- A市T町：砂質土壌・地下水位4m
フィルターφ150mm 浸透構造体H=500mm
- 試験施工後、給水車にて給水、水位を一定に保つようにバルブで水量を調節し、5分ごとに給水量を計測。

- ます内の水位により
(A)1,800L/時～(B)1,000L/時の給水量を測定した。

低コストの理由は

周囲の環境にやさしい施工方法



コア抜き



鋼管差し込み



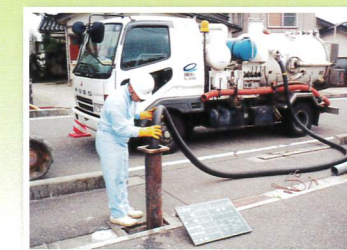
深度確認



砕石投入



塩ビ管、浸透シート建込み



土砂吸引



鋼管引き抜き



砕石転圧



フィルター取付

一個所当たり、おおよそ30分から1時間で施工できます。
(砂質土壌、φ150mm、浸透構造体H=500mm)

- 試験結果はほぼ同条件で施工後の性能確認時の浸透量のデータ平均を良く代表している。

効果の評価

*平均的な市街地のますの個数を20個/haとした。
(下水道雨水浸透技術マニュアルより)

- ①一個所当たりの浸透量が1,000L/時とした場合
一時間での1ha当たりの全雨水浸透量=20m³/時
単位面積当たりの雨水排除能力=2mm/時
- ②一個所当たりの浸透量が1,800L/時とした場合
一時間での1ha当たりの全雨水浸透量=36m³/時
単位面積当たりの雨水排除能力=3.6mm/時

